

2021年3月11日

令和二年度草の根・人間の安全保障無償資金協力（セントクリストファー・ネービス）
ネービス島医療機材整備計画に関する署名式

2021年3月11日午前10時より、令和二年度草の根・人間の安全保障無償資金協力であるネービス島医療機材整備計画に関する署名式がオンライン形式で行われました。

被供与団体であるアレクサンドラ病院は、日本政府の供与額 65,774 米ドルの無償資金を利用して、PCR検査機器を調達します。これにより、ネービス島における新型コロナウイルス感染拡大への対応能力向上が期待されます。

本式典では、平山達夫在セントクリストファー・ネービス大使及びゲイリー・ペンバートン理事が贈与契約に署名しました。また式典には、マーク・ブラントリー外務・航空大臣兼ネービス島自治内閣首相、ヘイゼル・ブランディ＝ウィリアムズ・ネービス島保健・ジェンダー担当副大臣、シェリサ・マーティン・クラーク同次官等が出席しました。

平山大使は挨拶の中で、本日3月11日は東日本大震災からちょうど10年であり、世界中が自然災害を乗り越えるために相互協力の重要性を学んだ重大な日である、日本政府は、コロナ禍との戦いへの支援を続けており、このPCR検査機器の供与はセントキッツ政府の努力を補完するものと確信する、できるだけ早く、この機器が効果的に利用されているところを見たいと述べました。

ブラントリー外務大臣、ブランディ＝ウィリアムズ副大臣は、日本政府による長年の協力関係に対する深い感謝の意を表明しました。ブラントリー外務大臣は、様々な分野における日本からの支援に感謝する、それが今日の両国の友情の絆につながっている、コロナ禍においては互いに助け合うことが重要であり、誰かが安全でないのなら、すべての人が安全ではない、この支援はまさに時機を得た重要な支援であると歓迎しました。本計画の概要を説明したクラーク次官は、この機材によって他の感染症検査も行えるようになり、新型コロナウイルスに限らず非常に有益なものになると断言しました。

日本政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を深めていくため、様々な分野でセントルシアに対する支援を実施していく考えです。



お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp



平山大使によるスピーチ



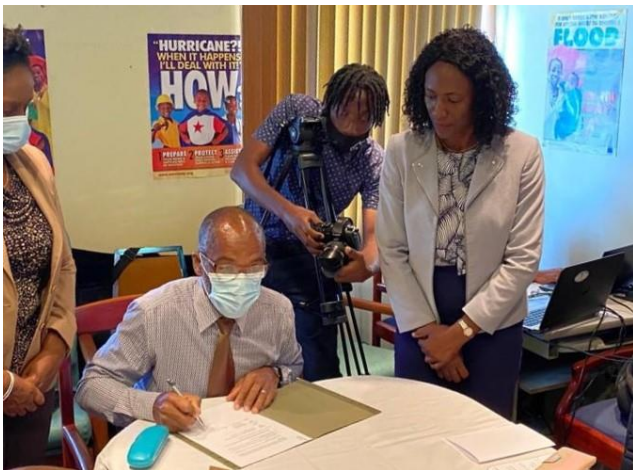
ブラントリー大臣によるスピーチ



ブランディ=ウィリアムズ副大臣によるスピーチ



平山大使が贈与契約書に署名する様子



ペンバートン理事による署名とクラーク次官（右）



署名後のオンライン握手

お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp

